

## 暑さに備えて！

暑さを感じる日が多くなりました。今年の夏も高温が予想されており、酷い暑さだった昨年度と変わらない暑さを覚悟しなければなりません。気象庁では、今年から日最高気温40度以上の日の「酷暑日」と新たな呼称を用意する等、各所で警戒を強めています。

学校も同様にお預かりしている大切なお子様を熱中症にすることのないよう、精一杯対応してまいります。

①子供が登校している時間、数か所で何度も計測します。

②1階中央廊下前及び北校舎昇降口前に「運動中止」⇒赤「**嚴重警戒**」⇒オレンジ「**警戒**」⇒黄色の旗を表示して注意を呼び掛けるとともに、養護教諭が放送で「運動は禁止です。」等の注意を呼び掛けます。

気温(参考)	暑さ指数(WBGT)		熱中症予防運動指針
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	嚴重警戒 激しい運動は中止	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 積極的に休憩	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 積極的に水分補給	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 適宜水分補給	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

## プール授業が始まります！

6/5(金)よりプール授業が始まります。プール授業は、全ての体育授業の中で最も危険を伴います。それは、1つの間違いやトラブルで生死に直結してしまう危険があるためです。そのため、**ルールを守れない場合、見学となる場合があります。**保護者の皆様にもぜひご理解いただきたいです。

また、水泳授業の参加について、保護者様の確認をお願いしています。

- ①水泳カードには、体温などの必要事項を記入の上、必ずサインか捺印をお願いします。
- ②記入漏れやサイン・捺印がない場合には、残念ですが安全上プールは入れません。

朝のお忙しい中、確認、サイン(捺印)していただくのは申し訳ないのですが、これを忘れるとお子様プールに入れないので、ぜひ忘れずに対応してください。また、今年からプールカードの書式が変更されています。**参加** **見学** のどちらか一方のみにサインか捺印となりますので、ご注意下さい。

なお、体調不良等で水泳授業をお休みする子供たちは、プールサイドでの見学ではなく、会議室等で読書をする等の対応をします。これも熱中症予防対策です。

以上、最新の注意を払って水泳授業を実施していきますので、保護者の皆様にもご理解ご協力をお願いします。

また、以前まちコミメールでお伝えした通り、「**子どもを見守る際、サングラスがとても有効**」なため、プール授業において教員や見守りボランティアさんがサングラスを使用することがあることを御承知おきください。